

職員による自己評価

A 環境体制整備

職員の配置、環境調整は適切に行われている。

B 業務改善

職員の資質向上のための研修は行われている。
第三者による外部評価がされているかわからない。

C 適切な支援の提供

保護者と連携を取り、児童の課題について共通の理解を持っている。
児童個々に適切な支援を行うようチームで話し合いがされている。

D 関係機関や保護者との連携

事業所の支援内容に関して保護者へ説明はされている。
外部施設との交流は行われていない。

E 保護者への説明責任

説明を適切に行えている。

保護者による評価

A 環境体制整備

活動スペース、人員配置は適切である。
バリアフリー化がされているかが不明。

B 適切な支援の提供

ニーズに合った支援計画が作成されている。
様々な活動プログラムが実施されている。
施設外の児童や、障害の無い児童と関わる機会はない。

C 保護者への説明責任等

説明は適切にされている。
父母会無く保護者同士の連携は支援されていない。

D 非常対応

緊急時対応や防犯のマニュアルは周知されている。

E 満足度

もみじに通うことを楽しみにしている。

事業所内での分析

【共通点】

父母会などの活動支援はされておらず、保護者同士の連携につなげられていない。
説明が必要な事柄については適切に説明がされている。
ニーズに合った支援を提供するために保護者との情報共有がされている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

職員と保護者間で送迎時等に日々の状況を共有し、支援計画の作成に反映することができる。

職員がニーズに合った支援ができるよう意識ができています。

事業所の改善点

バリアフリー化がされているかなど、施設内の情報を保護者に対し発信していく必要がある。

外部施設との連携や、新しい関りなどを提供できるように改善が必要。

事業所の改善への取り組み

施設内の情報を発信していき、保護者が確認に来れる体制を整えていく。

他施設と連携を図り、様々な関りが持てるようにしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者、職員で共有の認識がほぼ持っているため、継続して同じ状況を続けていくために保護者との連携を密にとっていく必要がある。

事業所名 _____ もみじのて NEXT

担当者 _____ 小田切 尙真